

科目責任者 稲田 俊一郎（英語・言語学研究室）

授業担当者 A組：小田島 創志、B組：稲田 俊一郎、C組：大和 恵美

■教育目的（各クラス共通）

日常的な手紙や E-mail の書き方から英文エッセイまで、文法、語彙の増強、パラグラフライティングなど総合的な英語作文能力を養う。

■学習到達目標（各クラス共通）

1. 英語の文章（段落）構成に関する知識を身につけ、論理的な展開の英文エッセイを作成できるようにする。
2. E-mail や Fax、および、英文の手紙等に特有の形式を習得する。
3. 文法、語彙・語法等知識の確認を行い、できるだけわかりやすい英文の作成方法を身につける。

■授業内容

A組 小田島 創志

この授業では、英文エッセイの作成に必要な注意事項を、下記の教科書や配布プリントに従って少しずつ確認していく。そして、質の高い英語・質の高い内容・質の高いパラグラフ構成を備えた英文エッセイを自力で作成するのが最終的な目標である。

授業時間の構成はだいたい以下の通り。まずは前半～中盤で「ルール」と「材料」を身に付ける。つまり英文エッセイの基本構成を学びつつ、英文作成に必要な重要文法事項の確認や、英文作成に役立つ重要表現を確認していく。自分で英文エッセイを書くためには、何よりもまず語彙を増やし、正しい文法を使いこなさなければならない。語彙や文法は英文エッセイの「材料」となる。「材料」が貧弱であれば質の高いエッセイとは言えない。

授業時間の後半は「実践」。教科書や配布プリントの問題を解くか、簡単な英文を自分で書いてもらう。できれば一人一人のペースに合わせたいので、ここでの作業時間中に教員からアドバイスしていくことも考えている。

学期の後半では、徐々に「実践」の時間を増やす。そうすることで、パラグラフ構成を自分で考え、文章の論理展開を向上させていく。その他授業についての細かい内容・注意事項は、初回時に詳しく説明する。

準備学習（予習・復習）：出席者には何度か課題を出し、翌週以降に提出を求める予定。課題は主に短いエッセイとするが、内容はこちらで指定する場合もあるし、自由に書いてもらう場合もある。課題は 30～60 分での作成が望ましい。最後の期末試験では、それまでの学習に基づいたエッセイを作成してもらう。なお、課題作成時に剽窃（コピー）行為は絶対に行わないこと。なお授業には必ず辞書を持ってくること。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：上記の準備学習で示した課題は個別に添削して返却する。また授業の質問にはメールで個別に回答する。

期末試験（50%）、課題・レポート・授業点（50%）

教科書：『Smart Writing: Active Approach to Paragraph Writing』仲谷 都 / 吉原 学 / Ruth Fallon 共著（成美堂出版）

ISBN: 9784791960323

その他、必要に応じて随時プリントを配布する。

B組 稲田 俊一郎

様々なパラグラフの実例を取り上げたテキスト及び配布資料を用いて、英文でのレポート・論文作成の基盤となる構成方法を体得することを目指す。また、誤りを含む実例の校正にも取り組み、英文校正力の向上を狙う。授業内では、パソコンの文書作成ソフトを用いた基本的な書式の設定方法や文書作成時の注意事項や論理も確認する。

準備学習（予習・復習）：予習：テキスト・配布資料の語彙や表現を辞書で調べた上で授業に臨むこと（30分）

復習：授業内で行ったことを参考にして、1パラグラフ分の英作文を複数回課す（40分）。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験（60%）、レポート（40%）で総合評価する。

教科書：『Writing for Fluency and Accuracy Andy Boon, Cengage Learning.』

C組 大和 恵美

本授業では、パラグラフ・ライティングの基礎的な技能習得を目指す。パラグラフの形式、構成の仕方などの説明から入り、実際に数種類のパラグラフ作成を通して英作文の基礎を身に着ける。モデル・パラグラフの読解と自由英作文ができる程度の基本的な英文法の知識を前提とする。授業の流れとしては、パラグラフの説明→アウトライン作成→下書き提出→添削→清書提出（手書き不可）となる。

準備学習（予習・復習）：教科書を授業内で丁寧に読んでいくというよりは、理解していることを前提として要点を簡単に確認するだけになるので、予習として指定された教科書の部分は必ず読んでおくこと。課題として自分の作成するパラグラフのアウトライン作成、下書き作成提出、および添削後の清書提出が求められる。

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：課題レポート（50～60%）及び期末試験（40～50%）

教科書：『パラグラフから始める英文ライティング入門』（研究社）をメインとし、必要に応じてプリントを配布する。